

# E 北山田駅コース

川崎市  
宮前区



## E 北山田駅コース

川崎市  
宮前区



小さな鳥居 (赤色)



防火用施設 (赤色) を左折



右折し、坂を下る



城山歩道橋の戊



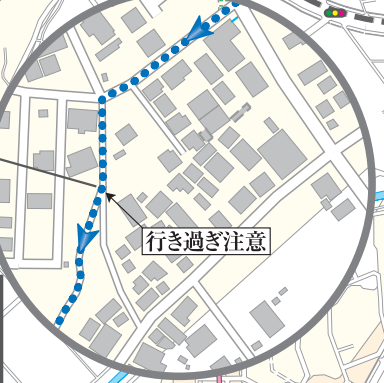
上り坂  
行き過ぎ注意  
城山歩道橋を渡り左折



長い参道  
石段を下る



四つ角を左折し  
石段を上る



行き過ぎ注意



石段を上る  
狭い石段を下る



行き過ぎ注意  
清林寺の看板



細い道







## 1 やまたじんじゅ 山田神社

本殿は一間社流造り(市有形文化財)のけやきの彫刻が素晴らしい。梵鐘(4代目)は、神仏の混淆時代の名残り。250メートルの長い参道には、桜並木、狛犬、戦竿などがあり、風情が見所。



## 7 じゅうにし いし 十二支の石

ふじやとのみち(2.5km)を概ね等間隔に十二支の像を時計回りに配置し、子ども達の集合目印にした。石は三春の自然玉石(青鍋石)で、穴をあけて飛んできた種が根付く植木鉢にした。戊は城山歩道橋の欄干わきの親柱の上に、鉄製で作られている。



## 2 せいりんじ 清林寺

本堂の前にある山椿は古木で見事。他にも樹齢約250年の名木として指定された白樫や銀杏の木がある。2007年に本尊である聖観世音菩薩が市の有形文化財に指定された。



## 8 とくしゅうこうえん 徳生公園

大きな円形の池にはバードウォッチングのための小屋と小島がある。周囲は緑豊かな樹林が残され、さらに背後に高層マンションが建ち並び、自然と共存する港北ニュータウンの特徴的な景観。



## 3 わかしのおね 昔の尾根みち

中川中学校から中川小学校に至る一部道幅の狭い道は、両側が崖になっている昔からの尾根道。ところどころうっそうとした樹林や竹林の道を歩くと、港北ニュータウンに残る自然の豊かさを感じられる。



## 9 ふじやとのみち

「徳生公園」「神無公園」「山田富士公園」を通り、山田神社方向に続く道。丘陵をうねるように走る緑道には十二支の文字を彫った石のモニュメントが置かれている。



## 4 りゅうふくじ 龍福寺

早淵川の勝田橋より見上げた高所に位置し、女坂の桜並木の開花期には訪れる人が多い。境内からの見晴らしもよく、また、櫻の古木指定樹があり、里山の古寺のたたずまいを残している。



## 10 しんなしこうえん 神無公園

古くはコム谷と呼ばれ、崖地の多い地形の険しい場所につけられた地名。神無(カム・コム)の字を当ててシンナシと呼び方を変えたといわれる。



## 5 こうめじじょうどう 古梅地蔵堂

徳川時代の末期、林述斎が中心となり編纂された新編武蔵風土記稿にも記載されている由緒ある地蔵堂。中には延命地蔵菩薩と子育て地蔵菩薩の2体のお地蔵様が安置されている。



## 6 だいぜんじ 大善寺

開創年は天和元年(1681年)以前で、名木樹齢375年の櫻が残る。浄土宗の寺は新しい試みとして、平成8年、境内で甘茶を栽培し、仏教の開祖、お釈迦様の灌仏会(花祭り)を復活させ、甘茶寺を目指している。

### むしおくり 虫送り

七月の土用入りした最初の土曜日の夕方に行われる伝統行事で、戦前は田んぼのある農村では、どこでも広く行われていた。現在は横浜ではほとんど行われていないが、山田神社では今でも南山田町内会 虫送り行事保存会により行われ、市の無形文化財に指定されている。もともとは、ウンカやズイ虫など稲を食い荒らす害虫を村の外に追放して、豊作を祈る行事である。

